

令和7年3月14日（金）

へき地・小規模校における遠隔教育の推進



北海道立教育研究所

教育課題研究部研究研修主事 佐々木 祥 悟

I 研究のねらい（目的）

- へき地・小規模校における遠隔教育の充実に向けた学校への支援を進めるとともに、効果的な事例を収集し、全道に普及・啓発を図る。

Ⅱ 研究の内容

- へき地・複式教育研究連盟と連携した遠隔合同授業の実態調査の実施
- へき地・小規模校における遠隔教育の導入や充実に向けた支援

Ⅲ 進捗状況

- 9 月 ・ 北海道へき地・複式教育研究連盟の加盟校を対象とした遠隔合同授業のニーズ把握に係るアンケートを実施

- 12月 ・ 研究協力校及び教育委員会視察
 (小平町立鬼鹿小学校・美深町立仁宇布小中学校)
 (幌延町立幌延中学校・問寒別中・幌延町教育委員会)

- 1 月 ・ 研究協力校視察
 (伊達市立関内小学校・栗山町立継立小学校)

遠隔合同授業の実態調査（アンケート）

■アンケートの目的

へき地・複式校の遠隔合同授業のニーズを把握し、
授業実践の普及啓発に資する。

■対象

北海道へき地・複式教育研究連盟の加盟校

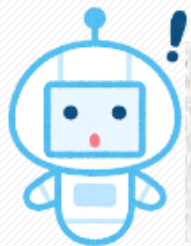
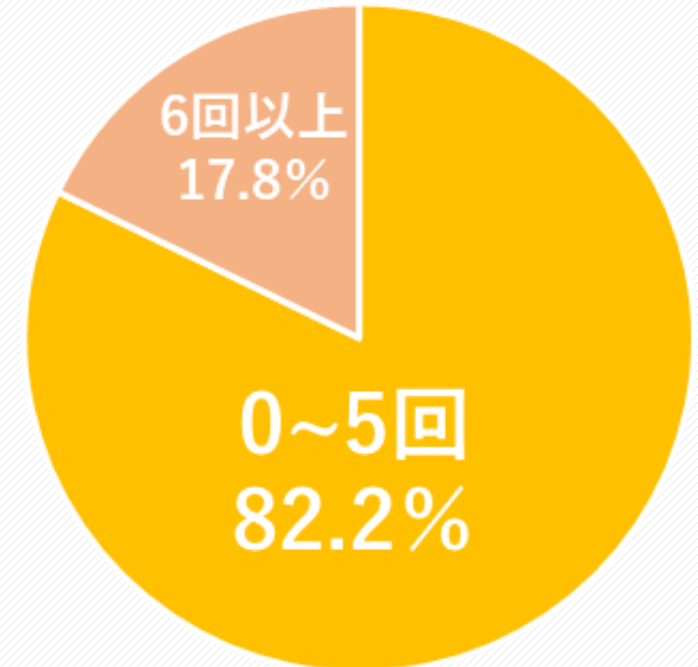
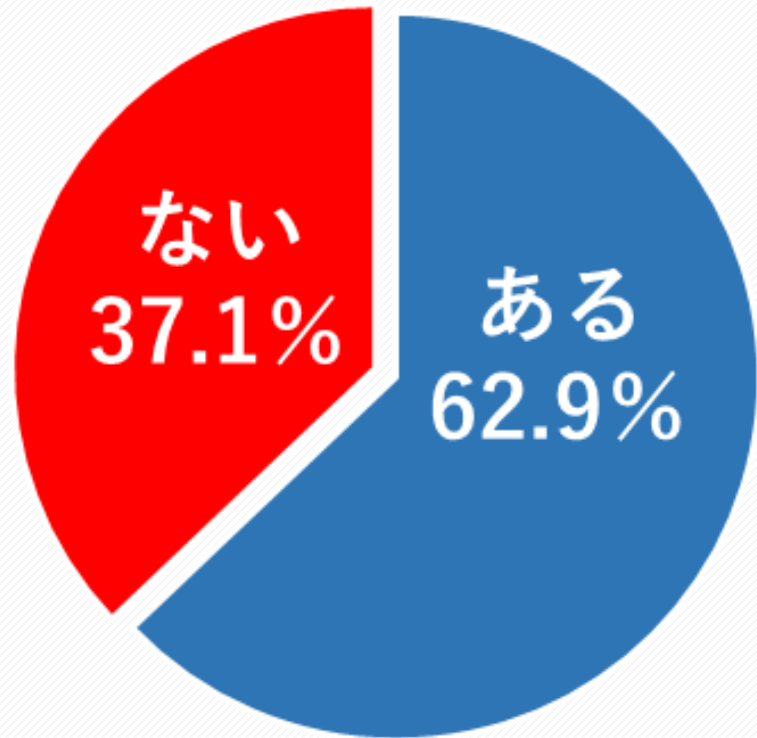
回答数175名

■アンケートの期間

令和6年9月24日（火）～11月1日（金）

遠隔合同授業の実態調査（アンケート）

■ 現任校における遠隔合同授業の実施の有無



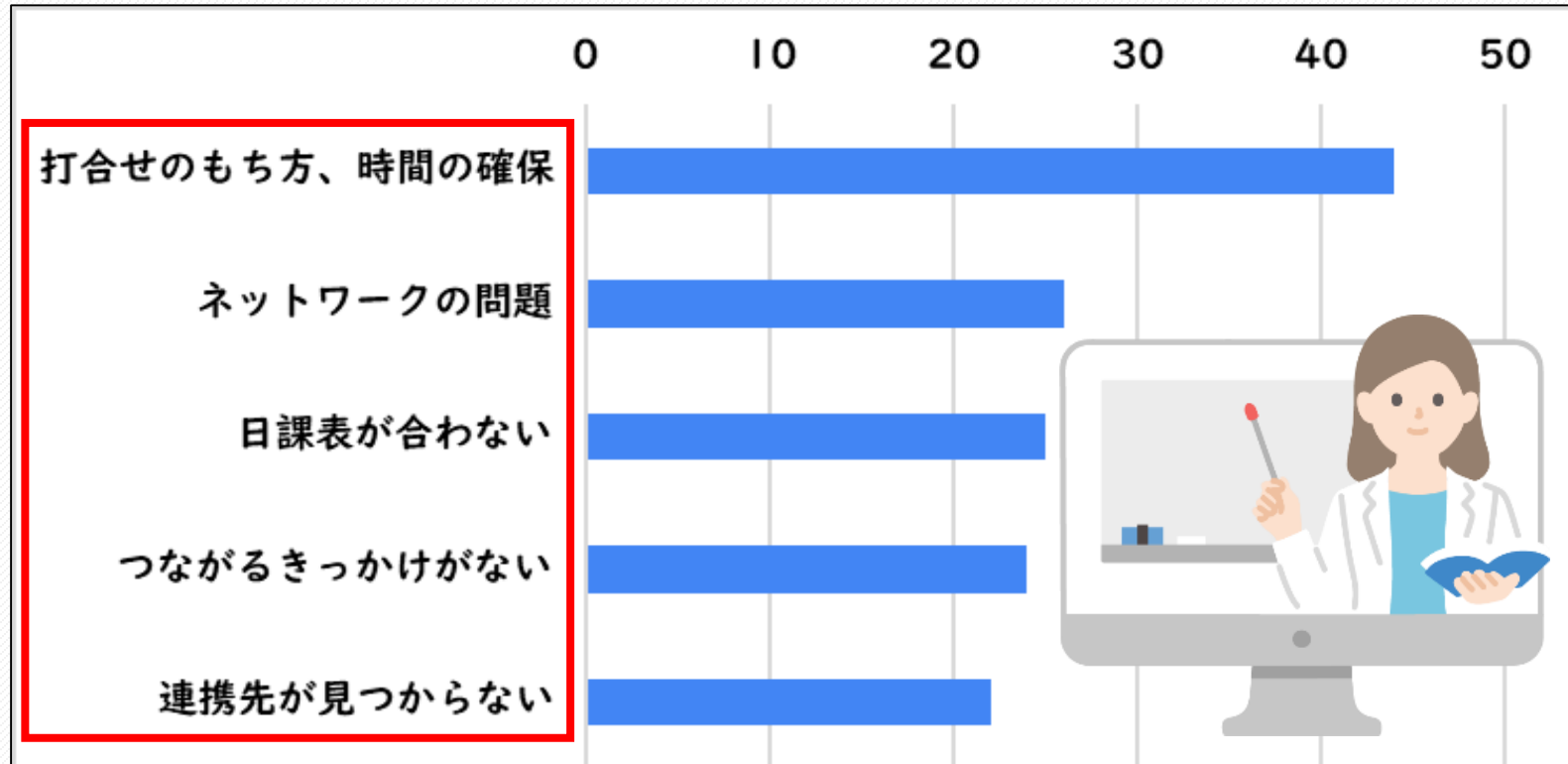
実施経験無と回答した学校が約4割



実施経験有と回答した学校の8割以上が0~5回の実施

遠隔合同授業の実態調査（アンケート）

■ 遠隔合同授業を実施していない理由



やってみたいけど
何から始めてよい
かわからない…

日課表が
合いません…

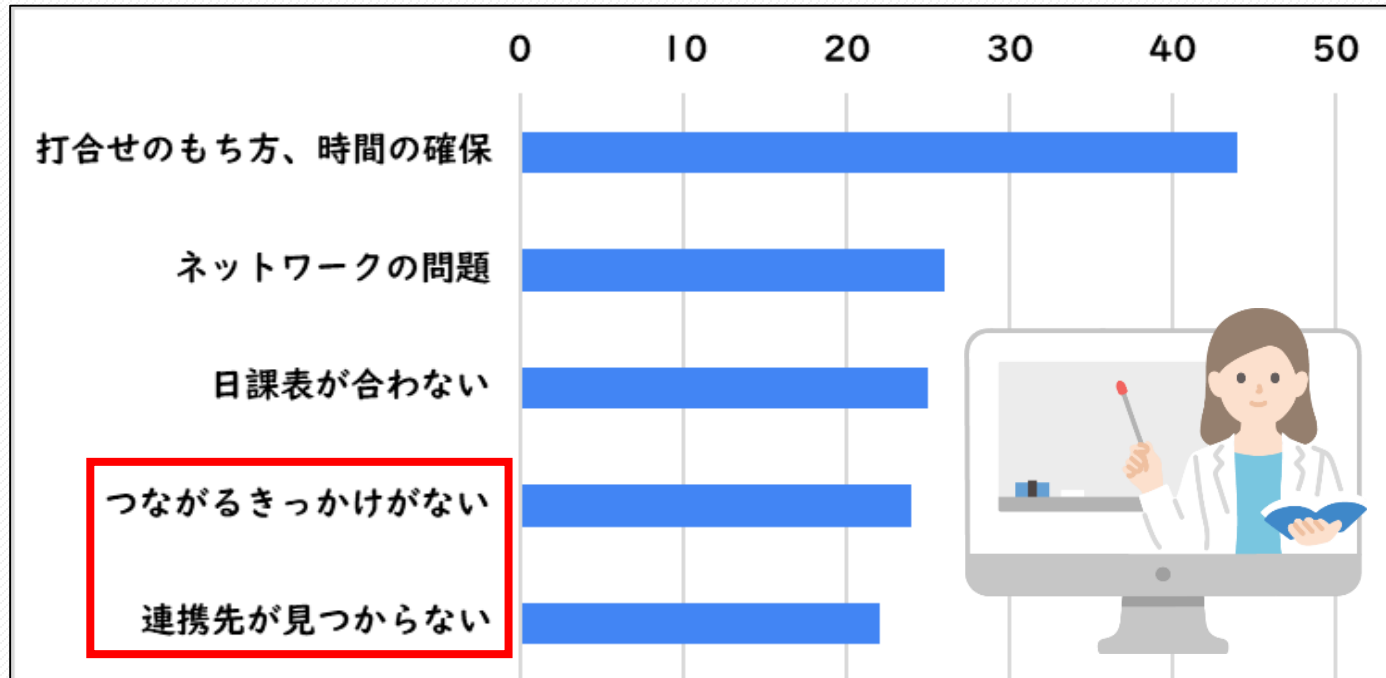
打合せの時間が
ありません…

継続的な取組に
つながりません…

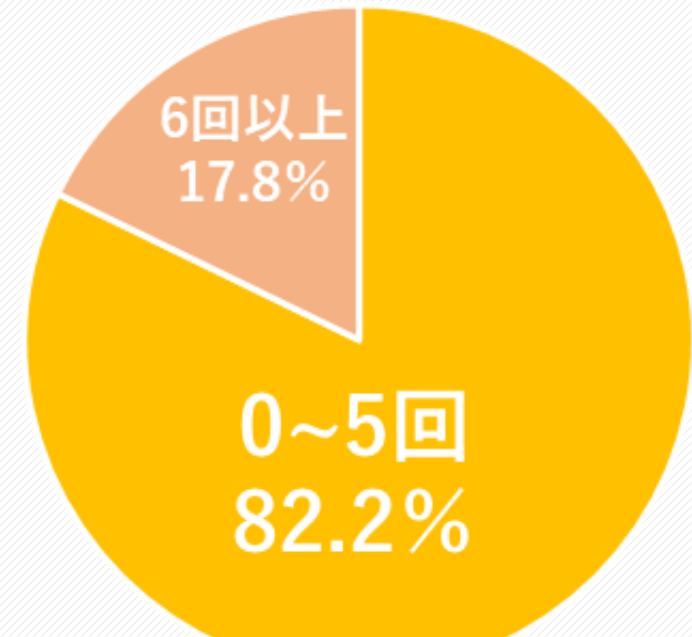
手間以上のメリットが
感じられません…



遠隔合同授業の実態調査（アンケート）



事例① **初めての**遠隔合同授業の実施



実施経験有と回答した学校の
の**8割以上**が**0~5回**の実施



事例② **継続的な**遠隔合同授業の実施

実践事例

事例① 初めての遠隔合同授業の実施（道徳科）

小平町立鬼鹿小学校（留萌）・美深町立仁宇布小中学校（上川）



■ 本事例の概要

- ・両校のマッチングをどのように図ったか。
- ・打合せの時間の確保をどのように行ったか。
- ・日課表のズレをどのように解消したか。
- ・子ども同士の事前交流会の様子
- ・遠隔合同授業の様子

事例① 初めての遠隔合同授業の実施(道徳科)

小平町立鬼鹿小学校(留萌)・美深町立仁宇布小中学校(上川)

マッチング

交流会

授業

振り返り

<道研の役割>

① アンケート結果からニーズが似た学校を選出

② 各校にヒアリング

③ 候補校を紹介

④ 遠隔合同授業実施検討のための顔合わせを計画

⑤ 顔合わせにて両校による遠隔合同授業の実施を決定



遠隔合同授業で
どんな内容を実施
したいですか？

話し合い活動を
したい！



人数が少ないから多様
な意見にふれたい！



事例① **初めての遠隔合同授業の実施（道徳科）**

小平町立鬼鹿小学校（留萌）・美深町立仁宇布小中学校（上川）

マッチング

交流会

授業

振り返り

<①教員間の顔合わせまでの流れ>

○Googleドライブを活用して資料の共有

- ・両校の日課表
- ・顔合わせの流れの資料



基本的にクラウドを活用して資料等の共有を行う。その他必要に応じて短時間でオンラインミーティングを実施

<②教員間の顔合わせ>

○打合せ事項

- ・日課表が一致する日がない→1番日課が近いところで調整
- ・**児童の事前交流**を実施
- ・当日の授業者を鬼鹿小学校の教員が主として進めることから、事前交流は、仁宇布小中学校の教員が主として進める。



柔軟に日課を調整



片方の学校に負担が偏らないように

事例① 初めての遠隔合同授業の実施(道徳科)

小平町立鬼鹿小学校(留萌)・美深町立仁宇布小中学校(上川)

マッチング

交流会

授業

振り返り

まずは、「心をひとつに」

例題)

小学校で習う教科といえば...?



中休みに実施しました。
鬼鹿小学校と仁宇布小中学校それぞれが5分程度のゲームを考え、交流しました。
ゲーム「心をひとつに」が行われ、**両校が協力してクリアを目指す**という工夫がなされていました。



話しやすい雰囲気づくり

事例① **初めての**遠隔合同授業の実施(道徳科)

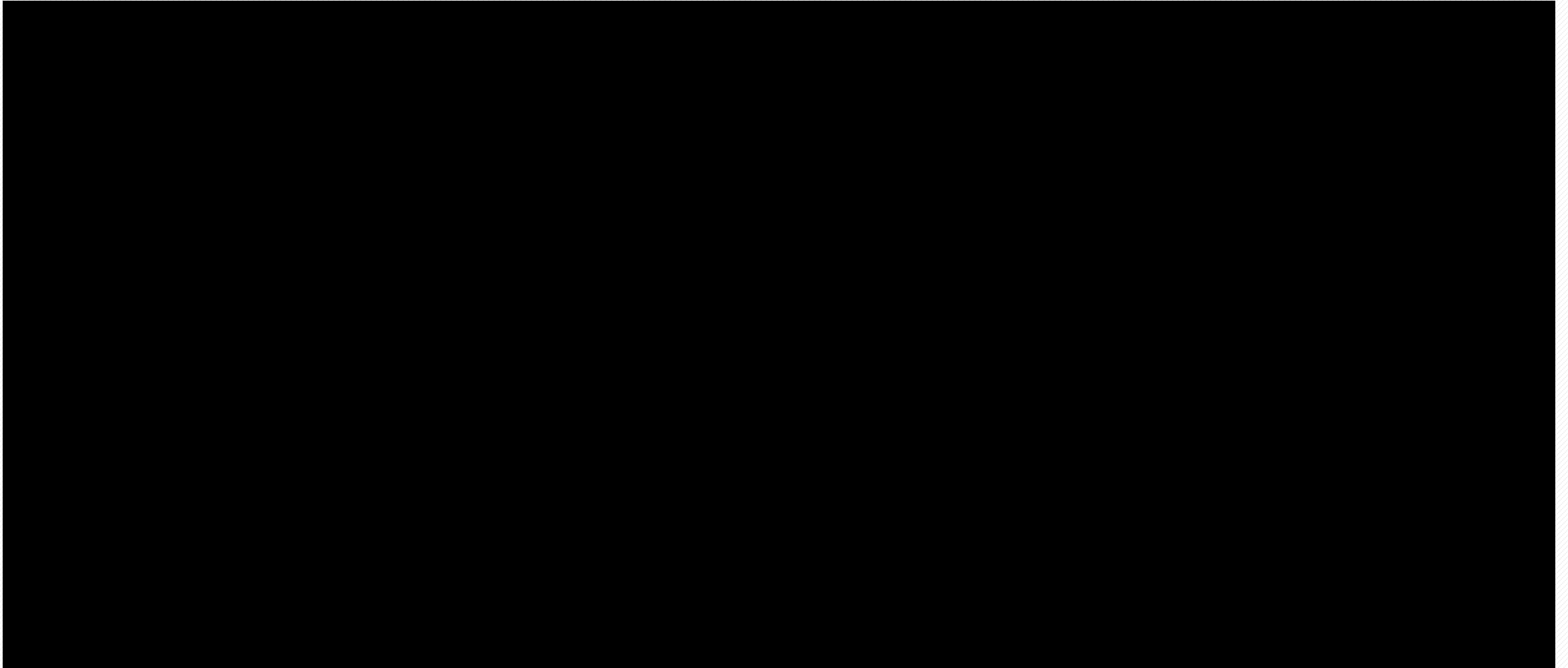
小平町立鬼鹿小学校(留萌)・美深町立仁宇布小中学校(上川)

マッチング

交流会

授業

振り返り



事例① **初めての**遠隔合同授業の実施(道徳科)

小平町立鬼鹿小学校(留萌)・美深町立仁宇布小中学校(上川)

マッチング

交流会

授業

振り返り



鬼鹿小:4名
仁宇布小中:2名

教科:道徳科「花さき山」
学年:3・4年生



事例① **初めての**遠隔合同授業の実施(道徳科)

小平町立鬼鹿小学校(留萌)・美深町立仁宇布小中学校(上川)

マッチング

交流会

授業

振り返り



事例① **初めての遠隔合同授業の実施（道徳科）**

小平町立鬼鹿小学校（留萌）・美深町立仁宇布小中学校（上川）

マッチング

交流会

授業

振り返り

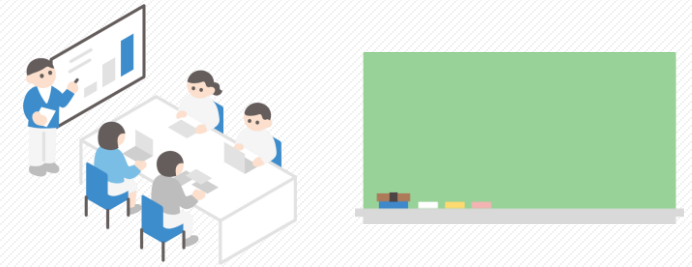
【振り返りでの主な意見】

授業で児童同士が話しやすくなったため、事前交流は必要です。

相手校の教員から、子どもたちへの接し方や授業づくりのポイントについて学ぶことができました。



遠隔合同授業終了後、次の打合せの日時を決めておき、継続の意思を共有しておくことが必要です。



最初に実施する教科として、道徳科は、考えを伝え合う場面が多く、進度の調整も容易であるため、やりやすかったです。

実践事例

事例② 継続的な遠隔合同授業の実施（外国語科）

伊達市立関内小学校（胆振）



■ 本事例の概要

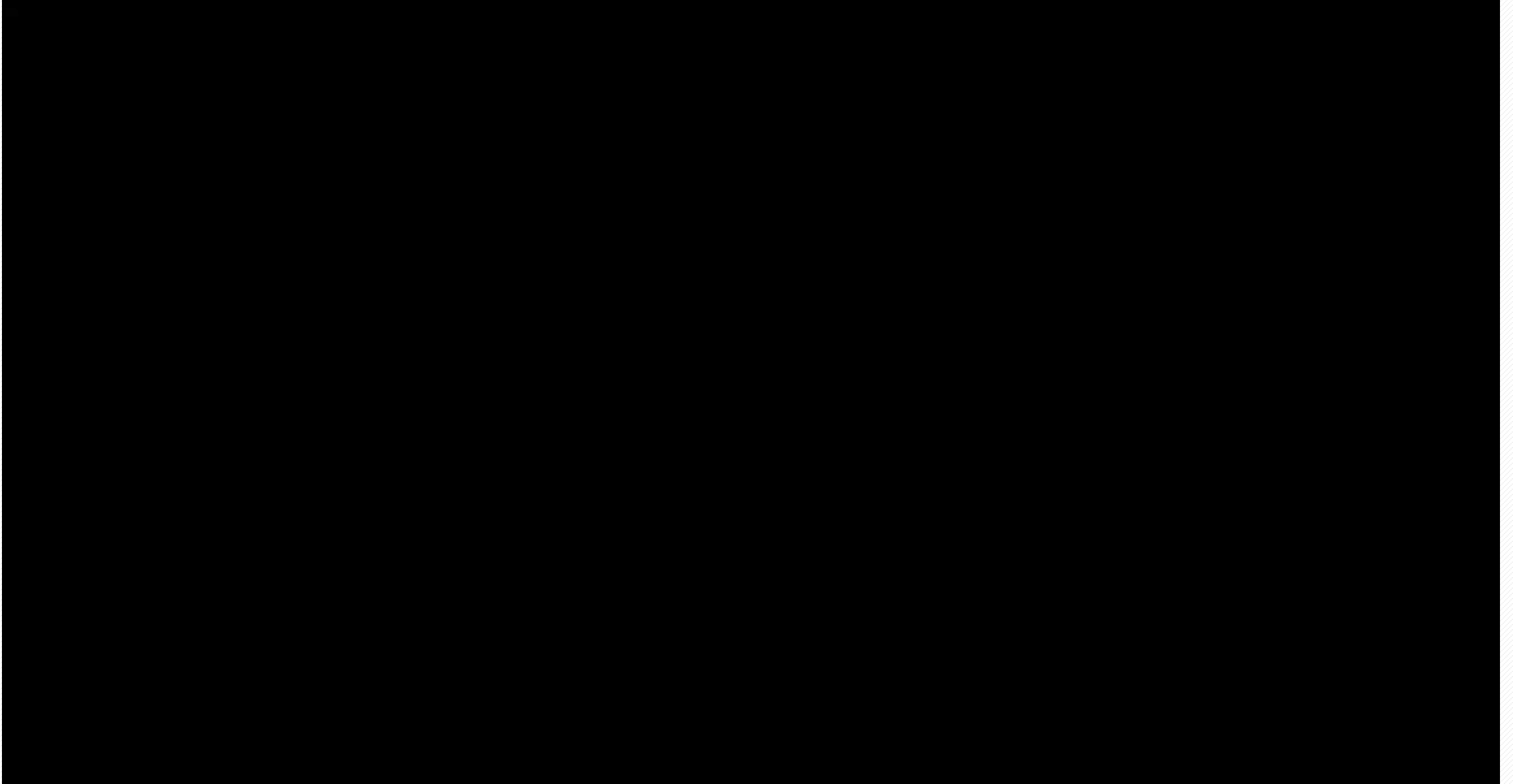
- ・遠隔合同授業のメリット（教員・児童）
- ・遠隔合同授業が継続しているポイント



※伊達市立関内小学校は、令和3年度から継続して遠隔合同授業に取り組んでいる。

事例② 継続的な遠隔合同授業の実施(外国語科)

伊達市立関内小学校(胆振)



事例② 継続的な遠隔合同授業の実施(外国語科)

伊達市立関内小学校(胆振)

メリット



【子どもたちからみたメリット】

意見が増える
対話の力がつく
他校のよいところがわかる
いつもはない考えを聞くことができる
自然と声が大きくなる

継続のポイント



【教員からみた子どものメリット】

社会性・コミュニケーション力の向上
相手意識・仲間意識の醸成
相手に伝えようとする力の向上



事例② 継続的な遠隔合同授業の実施(外国語科)

伊達市立関内小学校(胆振)

メリット

継続のポイント

1. 専門性の高い授業を子どもが受けられること

- ・今回のように、外国語を専門とする教員が単元の導入を合同で行うことで、単元のポイントが共有でき、自校の授業づくりに生かすことができる。

2. 授業づくりについて考えられること

- ・教員同士で授業について考えることで、自分の指導を振り返ったり、他校の教員の指導を学んだりすることができる。

事例② 継続的な遠隔合同授業の実施(外国語科)

伊達市立関内小学校(胆振)



事例② 継続的な遠隔合同授業の実施(外国語科)

伊達市立関内小学校(胆振)

メリット

継続のポイント

1. 遠隔合同授業の意義を共有すること

- 子ども・教員それぞれのメリットを共有

2. 打合せを最小限にしていること

- Google Classroomを活用した負担軽減
 - ・外国語科では、単元の指導計画を実施の1~2週間前にGoogle Classroomに掲載し、コメント機能を用いた打合せを実施している。



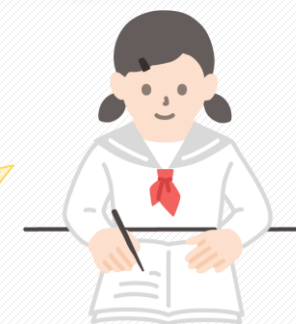
電話で打合せをすることはほとんどありません。
それぞれの教員の空いた時間に確認できるので負担が少ないです。

Ⅳ 成果



オンラインでもっと
授業や交流を試してみ
たいです！

緊張したけど、普段
聞けない考えが聞け
て良かったです。



授業において、交流の必
要感が生まれました。



教員同士で授業を考える
ことが自分の学びにつな
がりました！

令和7年3月14日（金）

へき地・小規模校における遠隔教育の推進

御清聴ありがとうございました。

北海道立教育研究所

教育課題研究部研究研修主事 佐々木 祥 悟